

8月27日

### 作品展示の協力に感謝 弟子屈郵便局から感謝状を贈呈

感謝状を手にする渡辺会長(左)と越前さん(右)



弟子屈郵便局（藤原将男局長）は、8月27日に郵便局のロビー展などに長年協力した、（一社）摩周湖観光協会（渡辺隆幸会長）と町内在住の越前清美さんに感謝状と記念品を贈呈しました。

これまで、同協会は主催するフォトコンテスト入選作の展示やフレーム切り作品を無償で提供。越前さんは、郵便局の風景印や刺しゅう、切り絵の展示を行って来ました。

感謝状を手にした渡辺会長は「写真を目にして弟子屈を訪れる人が増えれば嬉しい」と話していました。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすくにつけてください。お気軽にご連絡ください。

※かづの政策課政策調整係 ☎482-2913 (調通)

9月1日～30日

### アイヌモシリオオカミが見た北海道 水越武写真展

野生動物の写真的数々



町在住の水越武さんの写真展が9月1日から30日まで、川湯ビジターセンターと弟子屈郵便局（藤原将男局長）ロビーで開催されました。

水越さんは愛知県出身で35年前に弟子屈町に拠点を移し、国内外の森林などを撮影。2012年には弟子屈町文化賞を受賞、今回の写真展は昨年出版した「アイヌモシリ オオカミが見た北海道」から川湯ビジターセンターでは自然写真を中心に45点、弟子屈郵便局では野生動物の写真18点を展示。写真展には、町民だけでなく町外からも多くの方が来場しました。

9月12日

### 地域の方が先生 美留和小学校でイモ団子づくり

一生懸命イモをつぶす児童



美留和地域の方々を先生に招いて9月12日、美留和小学校（佐藤義行校長）で子どもたちがイモ団子づくりを行いました。児童全員で熱々のイモをつぶし、真っ白になりながら片栗粉を加え、形を整え、フライパンで焼き、最後は自分たちで作ったイモ団子を食べていました。最初は、何をしてよいかわからなかった児童たちも最後には自ら食器を洗い、片付けを行っていました。小規模校ならではの地域と連携した体験学習でした。

8月29日

### 弟子屈町花いっぱい運動推進会に 道路功労者表彰

表彰を受けた西崎会長(左)と青木副会長(右)



令和5年度道路功労者表彰伝達式が8月29日、町役場で行われ、弟子屈町花いっぱい運動推進会が表彰されました。式には、同推進会の西崎勉会長、青木貴代副会長が出席し、田村桂一釧路開発建設部長から表彰状が伝達されました。

国土交通省が実施している「道路ふれあい月間」の行事の一環として、道路清掃・美化活動などに貢献された団体や個人に国土交通大臣が表彰するものです。同推進会は、国道243号線の植樹帯や花壇整備、ごみ拾いなどの美化活動を継続、今年で20年目を迎えました。また、令和4年度からは地域住民からの要望を設け、景観向上も兼ねてバス停利用者のため木製ベンチを設置するなどの功績が認められ、今回の表彰となりました。

9月9日

### 消防士の仕事を体験！

### 弟子屈消防署で防火フェスティバルを開催

放水体験



弟子屈消防署で9月9日、救急の日」に第25回防火フェスティバル（同実行委員会、弟子屈消防署・消防団主催）が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりに開催、天候にも恵まれ、たくさんの方が来場しました。体験コーナーでは、子どもたちが水平に張られたロープを自力で渡るロープ渡りや、防火衣を着用しての放水など、楽しみながら防火意識を高めていました。また、認定子ども園まじゅう（鈴木幸菜園長）の園児による演舞や弟子屈小学校吹奏楽少年団による演奏、I&Mパトスタジオの皆さんのパト車披露も披露され、会場を盛り上げていました。



今回川湯から配信した方々

この会議で、サービスが本場に必要と思う方の共感を作ることはもちろん、サービスを作るにあたり協力者の方が「取り組み続けたい」と思えるツールや環境を整えていくことや人や自然と共生しながら、未来に向けて事業を作っていくヒントが得られる機会となりました。今回の様子は後日動画でも配信される予定です。

## 持続可能な町づくり

てしかがスタイル会議を開催



会議の様子

この会議は、弟子屈町の産業や暮らしの質を高めながら、文化や自然は守り続けたいという思いのもと、各ジャンルで活躍する方々が参加し、2022年2月からスタート。

てしかがスタイル会議（代表発起人加藤侑子）が9月10日に「生物多様性と持続可能性」をテーマに、川湯NOBLEから全国へオンライン会議が配信されました。

## 町の話



CloseUp Topics

21年ぶりに開封

## 美留和タイムカプセル開封式



思い出の数々



タイムカプセルを掘り起こす

美留和住民が待ち望んだタイムカプセルが10月1日、21年ぶりに美留和会館で開封されました。コロナ禍で1年遅れの開催となりましたが、当時の小学生も久しぶりに美留和に戻り、地域の方々とも再会していました。開封は地域の方々が見守る中、美留和小学校の子どもたちが行いました。息子のおもちゃを入れた方は、当時の思い出を振り返り、20年後の自分に手紙を書いた当時の小学生は今の自分と比べて楽しむなどたくさんの思い出が詰まっていた。今回のタイムカプセルは美留和小学校90周年の年に埋めたもので、100周年の際にも埋めており、参加した方々はまた10年後の再開を楽しみにしていました。



開封を手伝う美小の児童

9月24日

### ばん馬の迫りに歓声 摩周湖ばん馬大会を開催



第12回摩周湖ばん馬大会が摩周湖馬友の会主催（近江屋茂会長）で9月24日、摩周輪馬場で開催されました。ばん馬文化の継承と地域活性化を目的に毎年開催されてきましたが、新型コロナウイルスの影響で昨年まで中止しており、4年ぶりの開催となりました。今年は道内各地から55頭のばん馬やポニーが集まり、階級に分かれて自然のレースを展開。また、ふれあいコーナーや抽選会などのイベントも用意され、来場者の皆さんは思い思いに大会を楽しみました。

9月24日

### 日頃の訓練の成果を披露 弟子屈消防秋季演習を開催



弟子屈消防秋季演習が9月24日、弟子屈消防署（池田保士署長）前で行われました。演習には、消防職員や消防団員など66人が参加。観閲式や9月30日に行われる釧路地方支部消防団員技能競技大会に向けた総合訓練などを行いました。徳永組合長は「優秀な成績を取められるよう頑張ってください」と話していました。

9月16日

### 国立公園満喫プロジェクト 伊藤大臣が川湯温泉地区を視察



環境省が推進する国立公園満喫プロジェクトに関する大臣視察が9月16日、川湯温泉地区で行われました。視察には、環境省の伊藤信太郎大臣が訪れ、環境省釧路自然環境事務所阿寒摩周国立公園管理事務所の田中所長と、徳永町長から事業の実施状況などについて説明が行われました。川湯温泉街では、環境省、町それぞれが廃屋の解体を進め、10月には町が川湯温泉街まちづくりマスタープランを策定し、川湯温泉街の再整備を進めています。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけられます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

10月2日～6日

### 木と触れ合う 木育週間を開催



町主催の木育週間が10月2日から6日にかけて、町林業多目的センターで行われました。木育とは、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」ことを目指す北海道生まれの取り組みで子供のころから木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む活動です。5日には認定こども園まじゅう（鈴木幸楽園長）の園児15人が訪れ、木のブールやつきまきなど楽しそうに遊んでいました。

10月2日～31日

### 色とりどりの作品 絵手紙展を開催



絵手紙サークル「絵手紙摩周湖」（藤原直美代表）の絵手紙展が10月2日から31日まで、弟子屈郵便局（藤原将男局長）ロビーで開催されました。同サークルは、毎年賀状の作品展を同局で開催しており、今回は開局130周年を記念して開催しました。扇状の紙を車両に見立て、「花畑行き」の汽車をイメージした作品と、ひまわりやこいのぼりのほか、野菜や果物など色とりどりの作品約70点が展示されており、来場者の目を楽しませていました。

9月20日

### 北海道小学校バンドフェスティバル全道大会へ 弟子屈小学校吹奏楽少年団が表敬訪問



第42回北海道小学校バンドフェスティバル全道大会に出場した弟子屈小学校吹奏楽少年団の皆さんが9月20日、町公民館を表敬訪問しました。7月29日に行われた第32回北海道バンドフェスティバル釧路地区予選において見事優秀賞を受賞し、地区代表として9月23日に苫小牧市で開催された全道大会に出場しました。全道大会では銀賞を受賞。訪問時には教育長、町長と共に笑顔での記念撮影になりました。

9月19日

### 町内産ブドウ100%の赤ワイン 「葡萄色の旦2022」の販売発表会



町内でつくられたブドウを使用した葡萄色の旦2022の販売発表会が9月19日、役場で行われました。今年は619本限定で販売され、フルーティな香りとし強い酸味が特徴的なワインになっているとのこと。9月22日から地元食材を使った料理とワインを味わえる「葡萄色の週末2023（エビイロウィークエンド）」が開催され、10月2日から一般販売されました。徳永町長は「今年はスパークリングワインや赤ワインが発売され、ますます可能性が広がっている」と話していました。

10月7日

### バスについて知る バス体験乗車を開催



弟子屈町地域公共交通活性化協議会（徳永哲雄会長）が主催するバス体験乗車会が10月7日に開催されました。この取り組みは、地域の公共交通の利便性向上を図ることを目的として運転免許証の返納を考えている一般の方と町内の小学生に募集を呼びかけ、計30人が参加しました。バスの乗り方や交通環境について説明を受け、公民館からバスで川湯温泉駅まで向かい、釧路湿原ノロッコ号に乗車し摩周駅へ帰るという行程で、参加した小学生は、バスのルールをゲーム形式で学び、苦戦しながらも自分で運賃を払うことを体験しました。

10月7日

### JR北海道「ひとめぐり号」・「ノロッコ号」 川湯温泉駅に入線



JR北海道が運行する観光列車「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」と「くしろ湿原ノロッコ号」が10月7日、川湯温泉駅に入線しました。ひとめぐり号は、JR北海道・日本航空が連携し2021年から運行が始まり、「ひとつの列車で、ひとめぐり。北海道」のコンセプトのもと、北海道を代表する花をイメージした多目的特急車両「ラベンダー」「はまなす」編成による、「北海道をふるさとにするひと」とめぐりあう3泊4日の列車旅です。お出迎えでは、5年ぶりに川湯ばやし保存会（横田憲治会長）による川湯ばやし披露され、笛の演奏に合わせて子どもから大人までが太鼓を叩く姿に、乗客の方々から拍手や歓声を頂き、大盛り上がりとなりました。

9月23日

### 自然を感じて 「森と本と木の椅子と」を開催



同実行委員会主催による「森と本と木の椅子と」が9月23日、RECAMP摩周で開催されました。昨年に引き続き2回目となるこのイベントは、気軽に町内の自然に触れる機会を作り、もっと森に親しみ、心地よさを再認識して、森のなかに度々訪ねるようになって欲しいという思いから開催されました。イベントでは、屋外で読書する「あおぞら図書館」をはじめ、「木の椅子づくり」や「五感を生かした森ヨガ」など、町内に広がる森と親しくなれる体験プログラムが用意され、飲食店の出店もあり、多くの町民が訪れていました。開催場所がキャンプ場ということもあり、町外からのキャンプ客も多く、偶然出会ったイベントを楽しんでいました。

9月20日

### 地域の活性化を願って 美留和郵便局が風景印のデザインを変更



美留和郵便局は9月20日から、郵便局にゆかりのある風景印（消印）のデザインを変更しました。デザインは「美留和駅とキハ54形気動車」を採用したもので、1931年のJR釧網線全線開通日に合わせて提供を開始。デザイン原案は過去にも連携実績のある釧路市立博物館学芸員の石川孝織さんが協力しました。前田航太局長は「コレクターも多いので、色々な方々に美留和駅を知ってもらえる機会になることを期待している」と話していました。